

令和6年度 知的財産権制度関係功労者表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

(五十音順 敬称略)



こ ばやし まこと
小林 誠

株式会社シクロ・ハイジア 代表取締役CEO

功績概要

- 多数の官公庁の知財関連の委員会に有識者として関与し、知財・無形資産制度の改善に貢献。特にIPランドスケープや知財情報分析等の国の施策に関与し、日本産業界の知的資産経営レベルの向上に貢献。IAM世界を代表する知財戦略家300人のうちの1人として選出。
- 実務家教員として、大学・大学院生、社会人大学院生に対して、専門教育を提供。特にIPランドスケープ、オープンイノベーション、知財戦略、知財価値評価、移転価格税制等、知財人材に求められる必要かつ実践的で高度な新しいスキルに関して、後進の育成に尽力。
- シンポジウムや公開セミナー等、毎年多数の講演を継続して実施。特に、経営や事業に貢献するためのIPランドスケープ関連の講演について、大企業向けから、中小・スタートアップ向け、大学・研究機関向けなど、幅広く対応し知財・無形資産制度の普及・啓発に貢献。



ふな びき たか あき
船 曳 崇 章

船曳特許事務所 所長

功績概要

- 岡山県の弁理士として、長きにわたり、岡山県及び鳥取県において知的財産権に関する無料相談員として、個人、中小企業の知的財産権に関する相談対応に尽力し、地域における知的財産権制度の普及、啓発及び活用に貢献。
- 岡山県北部に初めて弁理士事務所を開設し、発明やブランドを法的に保護する必要性の啓蒙や権利取得のための活動を行い、知財ミックスによる地場産業の活性化に貢献。また、元技術者としての技術的知見や経験を生かしたアドバイスを行うことにより産業の発展に寄与。
- 日本弁理士会中国会会長を務め、広島県のみで開催されていた無料相談にWEB会議を導入し利便性を向上させた結果、相談者が倍増し、弁理士の知名度の向上に貢献。



みつ まる ひろし
満 丸 浩

学校法人都築教育学園第一工科大学
工学部長・機械システム工学科/教授

功績概要

- 長年にわたり知財学習の取組を行い、全国各地の高等学校・高等専門学校における知財教育を理論及び実践の両面からけん引し、若年層教育に係る知財制度の進展に貢献。
- 「知的財産教育推進協力校事業」のコーディネーターや「知財力開発校支援事業」の統括アドバイザーとして、知財学習を実施する高等学校・高等専門学校の校長・教員を指導するとともに、知財学習を年間指導計画に導入するなど体制整備を行い、教育機関における知的財産教育の普及・定着の促進に尽力。
- 「産業財産権教育カリキュラムと指導マニュアル」の編纂に携わると共に、工業高校における知財教育の論文を複数投稿し理論面でも知財学習を探究。